

# 都医が目指す今後の医療提供体制

## ① コロナ病床の拡充

都立・公社、国公立病院を  
中心に、民間病院も協力

## ② 下りの医療連携体制作り

回復期リハの民間病院や介護施設で  
感染力の無い患者さんを受け入れる

## ③ 自宅療養者へのフォロー

- ・自宅療養・自宅待機者さんに対する  
多職種協働によるフォローアップ体制確立
- ・急変時に入院できる病床の確保

## ④ 薬剤の使用

重症化予防が期待できる  
薬剤の緊急使用  
(デキサメタゾン・イベルメクチン)

# 新型コロナウイルス収束に向けて

---

十分に感染が抑えられた状態で  
ワクチン接種開始を迎えることが重要です。

そのために…

- ・都民一丸となった、感染予防対策の徹底
- ・経営が厳しい業界に対する、規模に見合った補償

感染者数500人/日で緊急事態宣言を解除した場合、  
4月に第4波が来ることが複数の学者により指摘されている。(東大仲田教授、京大西浦教授)

# 循環器救急患者受け入れの現況

(榊原記念病院)

- 西多摩で発生した急性心不全
  - 10病院で受け入れを断られたのち33km離れた収容
- 町田で発生した急性心筋梗塞
  - 救急要請から3か所で断られて、3時間後に収容
  - 緊急カテーテル治療のタイミングを逸する
- 7か所で断られた急性大動脈解離
  - 直ちに緊急手術で救命
- 当院を受診した肺出血の男性、当院からの受け入れ要請に対して
  - 呼吸器専門医のいる総合病院6か所で受け入れ不能
- 軽快者の転院調整が困難

(東京都CCUネットワーク 2021/2/5 プレスリリースより)